

Achievement Examples

◆商品化に向けて品質を追求

製造後、それぞれの試作品に対する耐久テストを実施。日光や風雨による退色、摩擦による色落ちや剥離などの試験を継続して行い、商品化に向けての品質を検証した。

昇華型インクジェットプリンタで印刷したものは従来品と同等の耐久

ジェットプリンタとUV硬化フラットベッドプリンタを導入。機器の設置後、それぞれのプリンタを使用して、写真・文字の印刷状態や素材の適性を確認した。

昇華型インクジェットプリンタはデザインを紙からポリエステル生地に移転して印刷する。型の製作が不要で、一枚から捺染同様の印刷が可能になる。そのため小型鯉のぼり等の小ロットへの対応と商品の多様化が図れる見通しが立った。また、鯉のぼりの吹き流しに入れる家紋染め等に要する作業時間が短縮でき、コスト削減が図れることも判明した。

UV硬化フラットベッドプリンタはプラスチック、陶器、ガラス、木、鉄などに印刷できる。そこでスマートフォンケースや立札、木製品、ガラス製品、アクリル製品など、さまざまな試作を実施。素材の適性を確認し、商品化の検討を行った。



昇華型インクジェットプリンタ



UV硬化フラットベッドプリンタ

◆新商品の実現から次の展望へ

現在、新規のプリンタを使用して生まれた2種類の新商品が販売されている。一つは『えらべるたのしきPucca（プーカ）』。室内やベランダに飾る小型鯉のぼりで、24色の豊富なカラーと3サイズから選べ、名入れもできる。もう一つは『吉祥軍配飾り（赤富士）』。木製の軍配に赤富士の図

性が確認できた。一方、UV硬化フラットベッドプリンタで印刷したものは、木やプラスチックなど素材がそれぞれ異なる。そこで色落ちや剥離の検証のほか、写真や図柄の発色性を重視。直接印刷するほか、素材によつては下地の色を塗るなどの方法を試みることで、より発色の良い鮮明な仕様を追求した。

柄を印刷し、既設のレーザー加工機で名入れ等も施せる。

「新たな商品開発と多彩な商品展開が可能になったことで、マーケットニーズに適した商品を提供していきたい。今後は節句用品のほか、和雑貨の商品化を図り、海外や国内の土産物店といった新たな販路の開拓も進めたい」と徳永夕子代表取締役は将来を見据える。デザイン課の横川達也課長も「いわばこれからが本番。品質にこだわりながら魅力的な商品開発に努めたい」と語る。

日本の節句文化の継承と世界への発信、そして企業の発展を継続するための新たなモノづくりの戦略。二つの使命の両立を目指して、同社はこれからも挑み続ける。

※文中敬称略

多品種・小ロット・短納期の新商品を開発

— 高性能プリンタで節句用品・和雑貨の自社一貫生産を確立 —

株式会社徳永こいのぼり



◆自社一貫生産の商品を開発

株式会社徳永こいのぼりは昭和22年の創業以来、鯉のぼりの製造と卸売りを手がけている。国内市場の4割を占める業界最大のメーカーで、取引先は全国600社にのぼる。また、鯉のぼりを通じて日本の節句文化の海外発信にも努めている。

5月の空を泳ぐ鯉のぼりは日本の風物詩の一つだが、住宅事情の変化で近年はその姿を見ることが少なくなった。その一方で室内用の小型の製品が増加しており、形を変えて需要を保っている。

鯉のぼりはシルクスクリーン捺染で製造するが、型の製作費が高額なうえ、製造期間が長く、多くの工程を外注で行う。そのため大量生産できる商品の種類は限られる。同社では、今後の市場維持と拡大を図るには、開発からデザイン、製造までを自社で行い、多品種・小ロット・短納期に対応できる商品の必要性を実感。小型鯉のぼり等の節句用品や海外とインバウンド向けの和雑貨の商品開発プロジェクトを立ち上げた。

◆高性能プリンタで開発に挑戦

同社では新商品の開発と製造に向けて、平成26年10月に昇華型インク

代表者名	代表取締役 徳永 夕子
設立年月	昭和22年7月
所在地	〒709-0412 岡山県和気郡和気町藤野935-4
TEL/FAX	TEL.0869-93-1553 FAX.0869-93-1376
U R L	http://www.tokunagagoi.co.jp/
E-mail	info@tokunagagoi.co.jp
資本金額	21,000千円
従業員数	41人
業種	製造業繊維工業
事業計画名	昇華型インクジェットプリンタとUV硬化フラットベッドプリンタを導入して、多品種・少量・短納期で鯉のぼりや節句用品を全世界へ販売する

事業者の概要